

2. 里親制度に関する意識調査・広報啓発について

調査結果の概要

| | |
|-------------------|---|
| テーマ | 里親制度に関する意識調査・広報啓発について |
| 担当課 | 子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども家庭課 |
| 設問数 | 7問 |
| 趣旨・目的 | 今回のアンケートでは、市民の皆様がどれだけ知られているか、また、本市が行う里親制度の広報啓発活動について、市民の皆様の意識や意見を基に、今後の里親制度の啓発、新規里親開拓の充実に活用したいと考えています。 |
| 調査結果 | 各設問のページをご覧ください。 |
| 調査結果に係る 担当課の所見 | <ul style="list-style-type: none"> ・問 16 では、里親制度を「知っている」と回答した方が、令和 4 年度と比較すると、6.4 ポイント上昇している。「知っている」の回答に占める年代の割合で見ると、「40 歳代」で 1.7 ポイント上昇し、「50 歳代」で 6.2 ポイント上昇している。これらから、令和 4 年度からの取組が、「40 歳代」及び「50 歳代」に訴求したと考えられます。 ・問 18 では、「広報さかい」と回答した方が、令和 4 年度と比較すると、19.8 ポイントも上昇していることから、有用な広報手段であるため、訴求の効果が高いと伺えます。 <p>また、「40 歳代」の方の割合が大きいの、「市役所・区役所内でのパネル展などの展示やイベント」や「大型ショッピングモール内でのパネル展などの展示やイベント」であることから、ターゲット層とする「40 歳代」への更なる訴求のため、これらのパネル展示やイベント実施回数を増やすなどの取組を強化する必要があります。</p> |

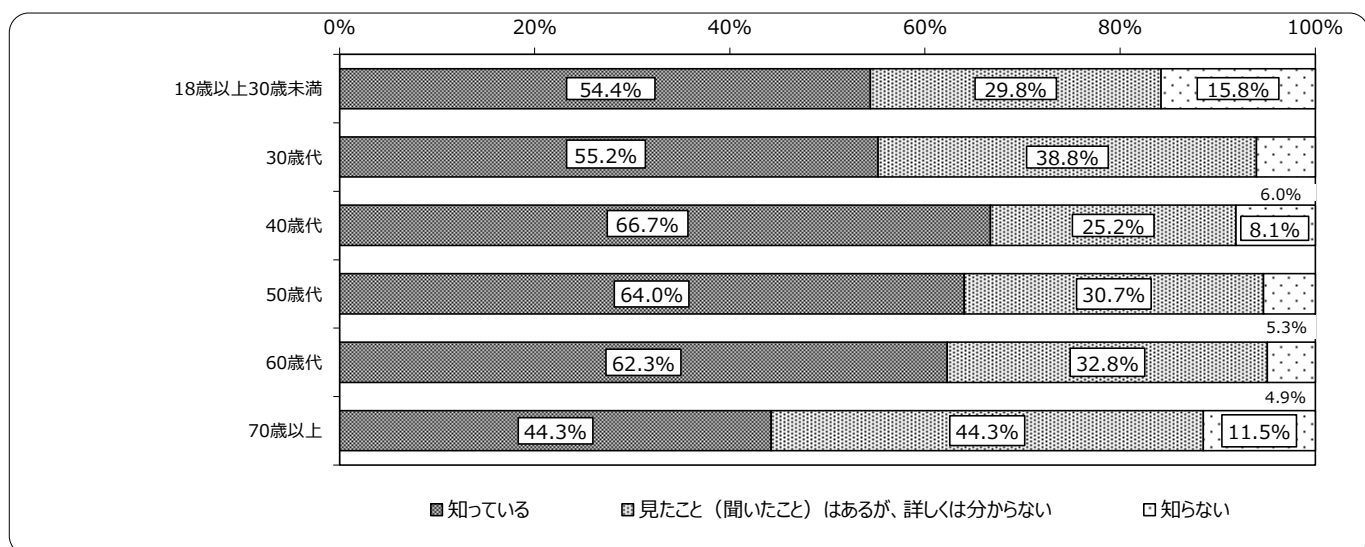
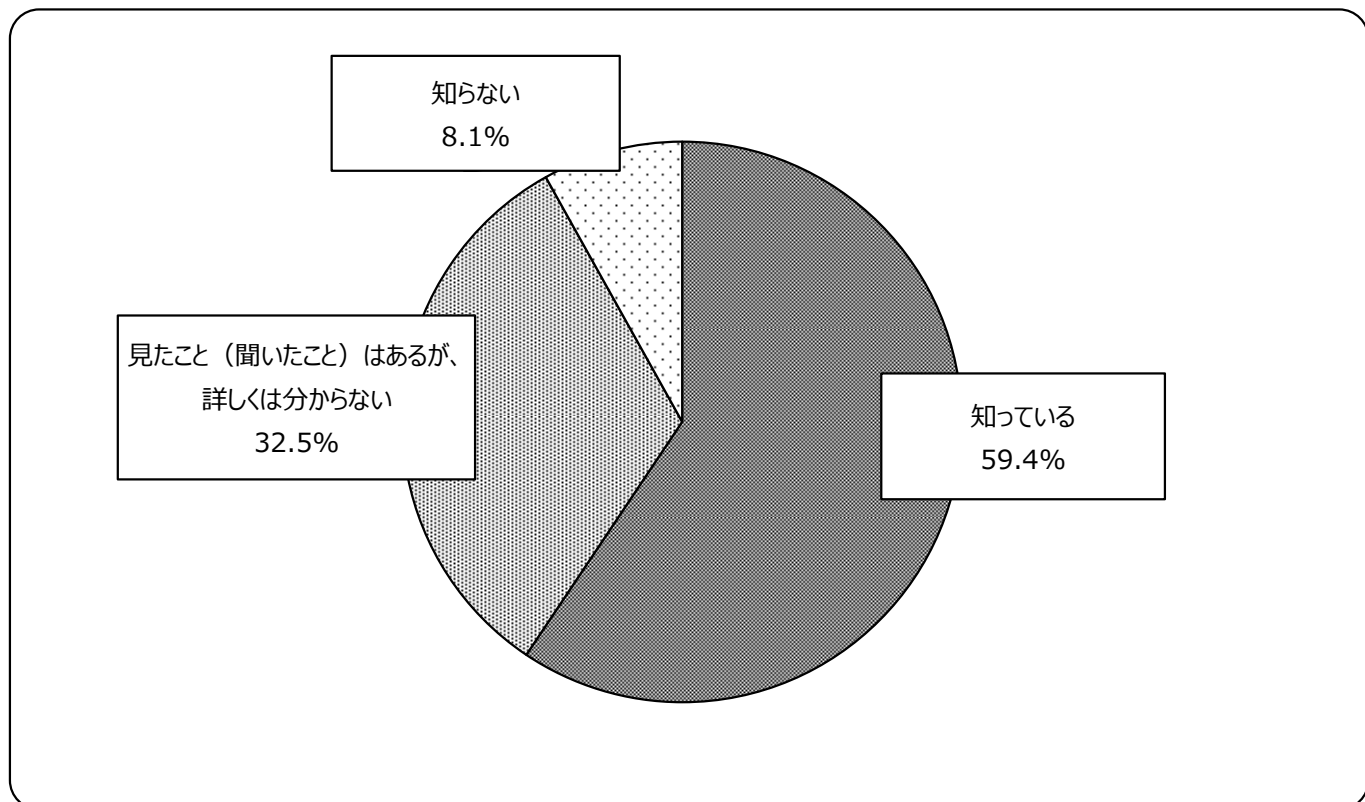
(1) 里親制度に関する意識調査・広報啓発について

問 16. 家庭で暮らせない子どもたちのための「里親制度」を知っていますか。

【1つ選択】

「知っている」と回答した方は 59.4%であり、令和 4 年度の 53.0%から増加した。また、「知らない」と回答した方は 8.1%であり、令和 4 年度の 11.6%から減少している。

| | 選択項目 (N=471) | 回答数 | 構成比 |
|---|---------------------------|-----|--------|
| 1 | 知っている | 280 | 59.4% |
| 2 | 見たこと(聞いたこと)はあるが、詳しくは分からない | 153 | 32.5% |
| 3 | 知らない | 38 | 8.1% |
| | 計(回答総数) | 471 | 100.0% |



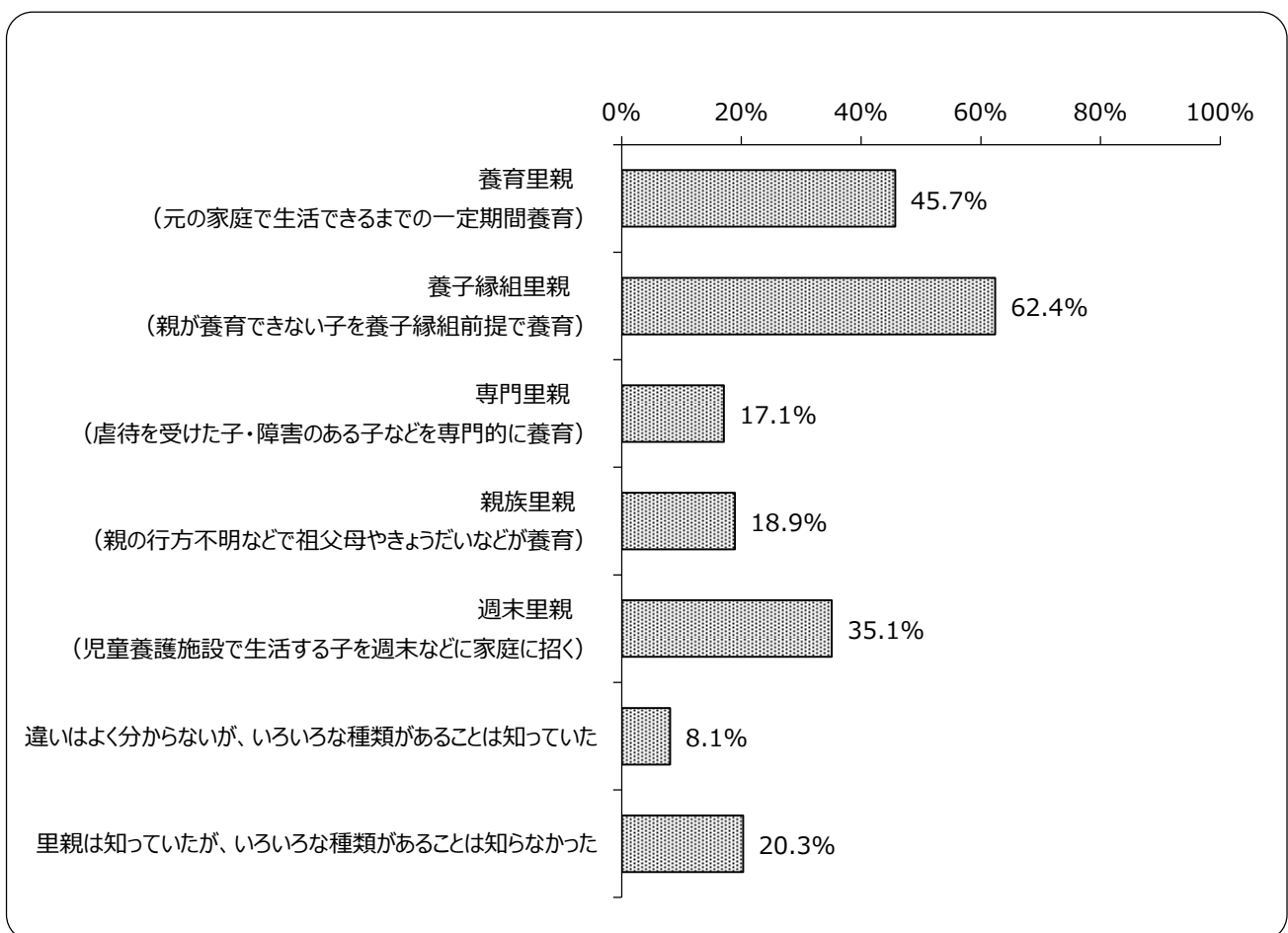
問 17. 問 16 で「1 知っている」「2 見たこと（聞いたこと）はあるが、詳しくは分からない」と回答された方に伺います。

里親にはいろいろな種類があります。知っているものはどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

「養子縁組里親」と回答した方は 62.4%であり、令和 4 年度の 55.8%から増加した。また、「週末里親」と回答した方は 35.1%であり、令和 4 年度の 24.0%から増加している。

| | 選択項目 (N=433) | 回答数 | 回答数/N |
|---|--------------------------------|-----|-------|
| 1 | 養育里親（元の家庭で生活できるまでの一定期間養育） | 198 | 45.7% |
| 2 | 養子縁組里親（親が養育できない子を養子縁組前提で養育） | 270 | 62.4% |
| 3 | 専門里親（虐待を受けた子・障害のある子などを専門的に養育） | 74 | 17.1% |
| 4 | 親族里親（親の行方不明などで祖父母やきょうだいなどが養育） | 82 | 18.9% |
| 5 | 週末里親（児童養護施設で生活する子を週末などに家庭に招く） | 152 | 35.1% |
| 6 | 違いはよく分からないが、いろいろな種類があることは知っていた | 35 | 8.1% |
| 7 | 里親は知っていたが、いろいろな種類があることは知らなかった | 88 | 20.3% |



問 18. 問 16 で「1 知っている」「2 見たこと（聞いたこと）はあるが、詳しくは分からない」と回答された方に伺います。
市内で里親制度に関する広報・啓発活動の中で、実際に見たことがあるものはどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

「広報さかい」と回答した方は 78.3%であり、令和 4 年度の 58.5%から増加した。「市役所・区役所内でのパネル展などの展示やイベント」と回答した方は 18.9%であり、令和 4 年度の 8.3%から増加した。

| | 選択項目 (N=433) | 回答数 | 回答数/N |
|----|------------------------------|-----|-------|
| 1 | 広報さかい | 339 | 78.3% |
| 2 | インターネット | 22 | 5.1% |
| 3 | ポスターやチラシ | 51 | 11.8% |
| 4 | 市役所・区役所内でのパネル展などの展示やイベント | 82 | 18.9% |
| 5 | 市役所・区役所前の懸垂幕 | 23 | 5.3% |
| 6 | 大型ショッピングモール内でのパネル展などの展示やイベント | 44 | 10.2% |
| 7 | 区民まつりなどのイベント内での広報活動 | 33 | 7.6% |
| 8 | マスメディア | 54 | 12.5% |
| 9 | 親族・知人が里親している | 21 | 4.8% |
| 10 | その他 | 28 | 6.5% |

【主な回答】

[2 具体的に]

- 堺市ホームページ
- X (旧 Twitter)
- Instagram

[3 具体的に]

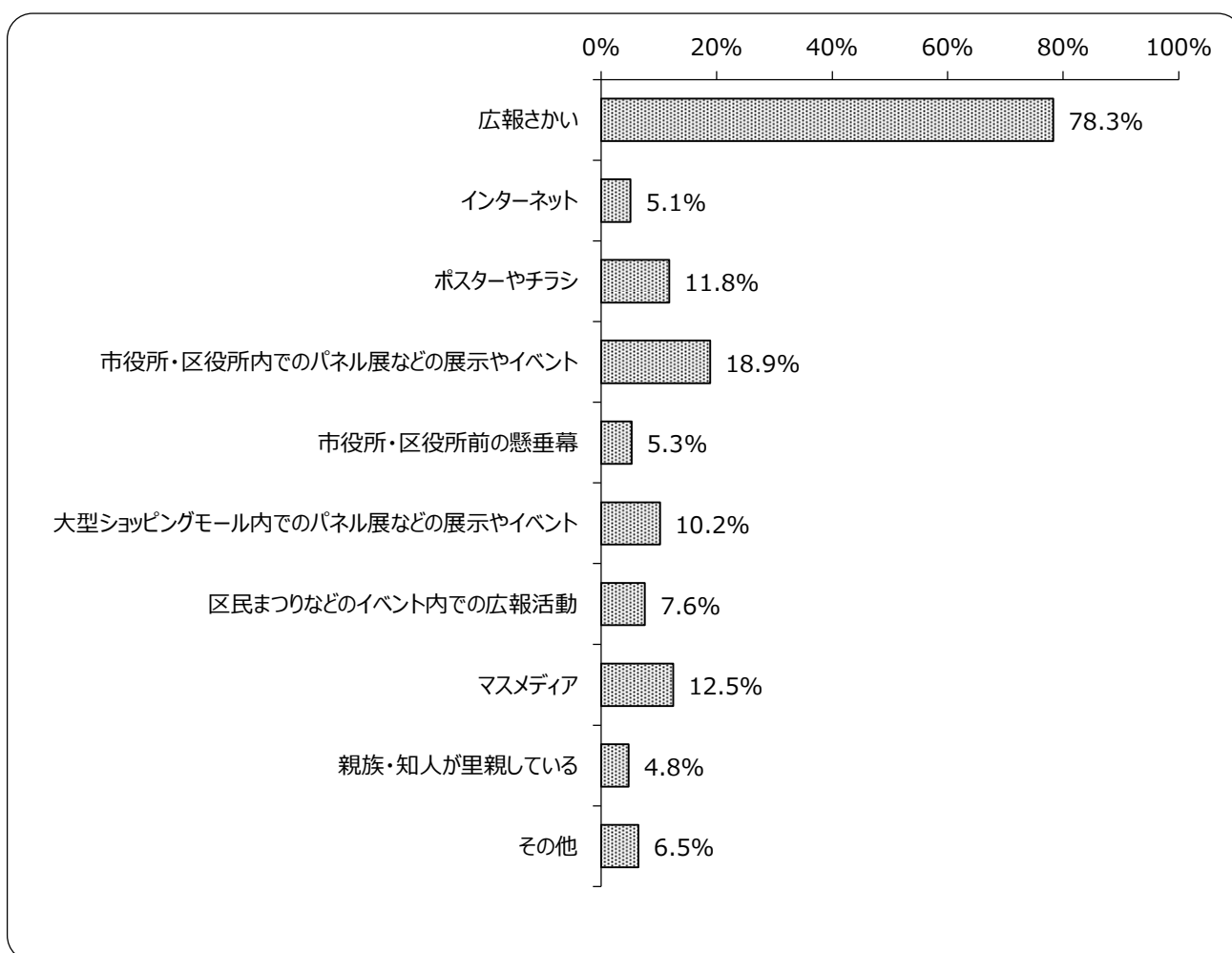
- 市役所
- 区役所
- 図書館
- 薬局
- スーパー
- 郵便局
- 電車・駅構内

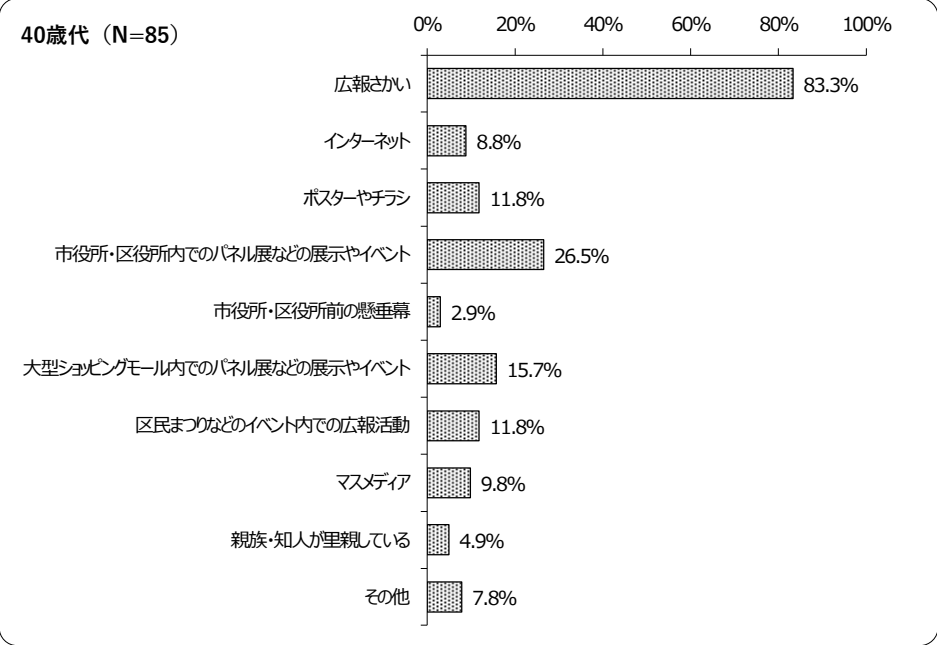
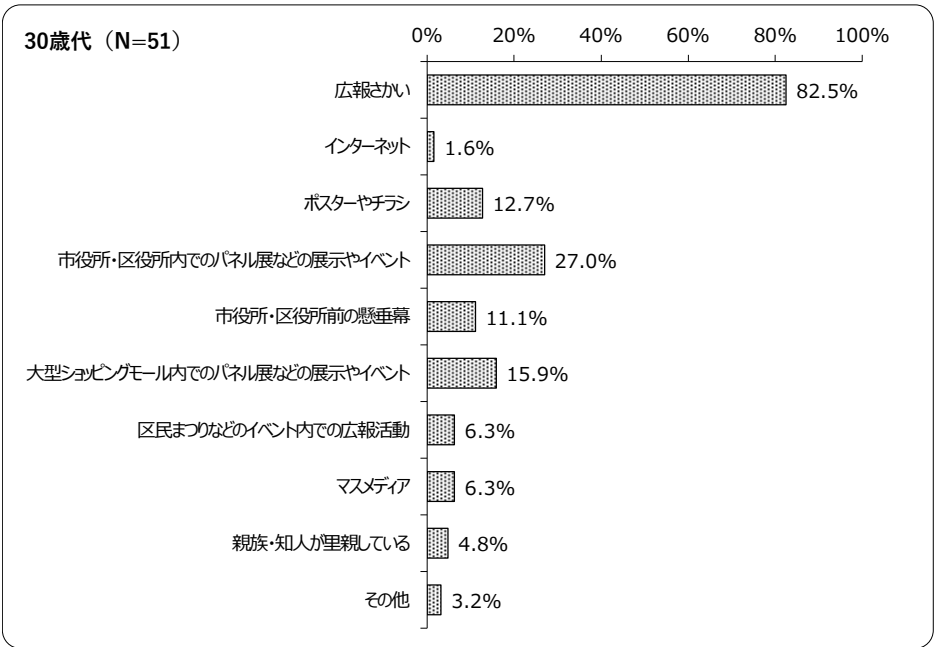
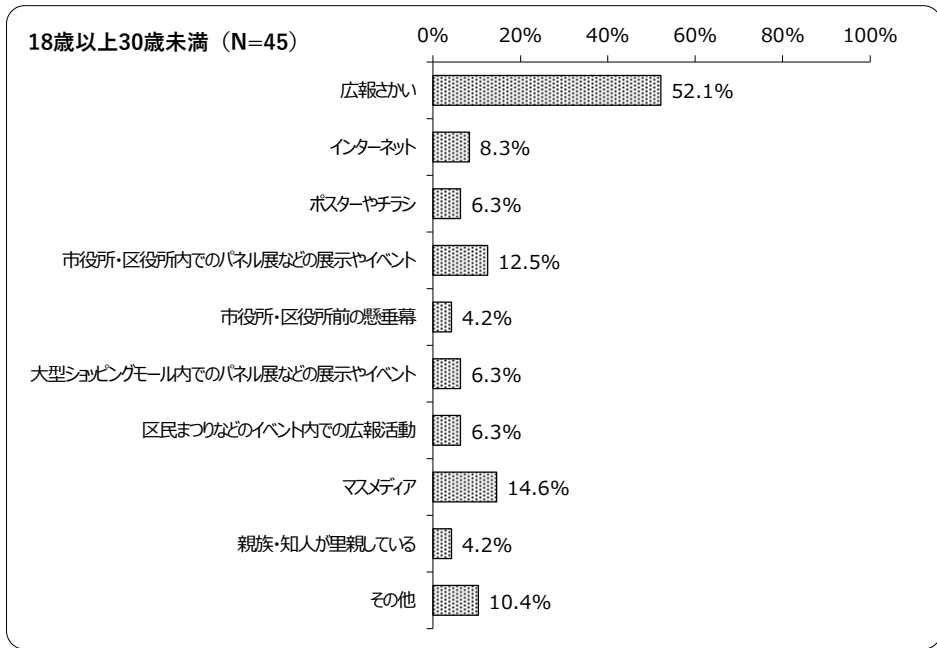
[8 具体的に]

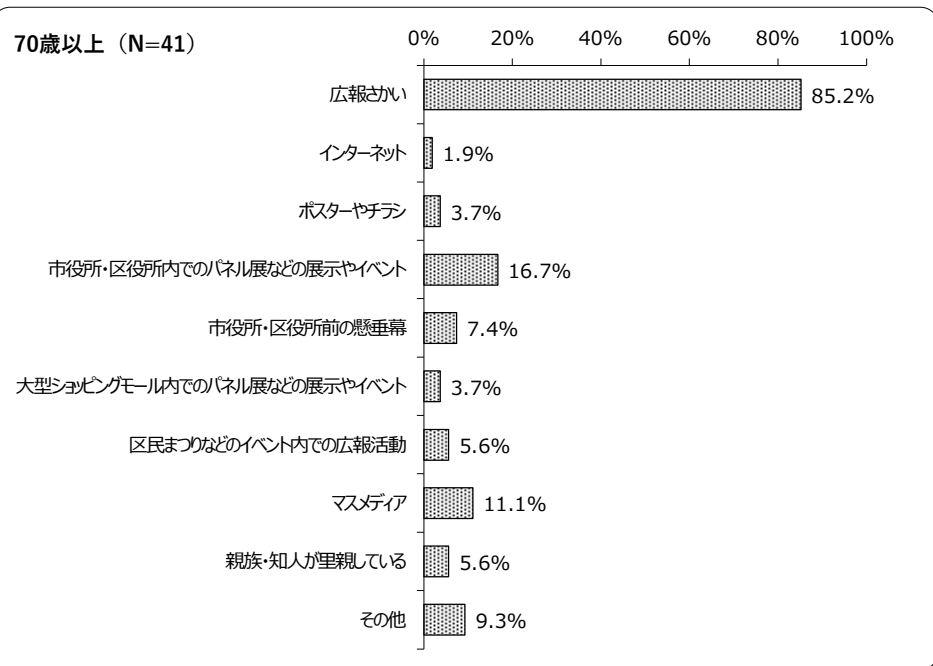
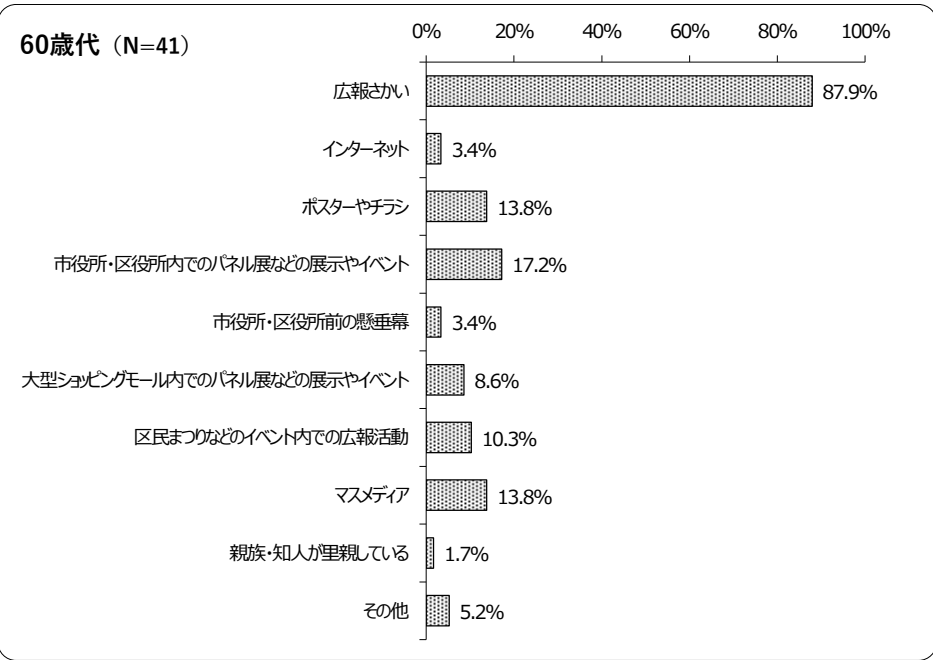
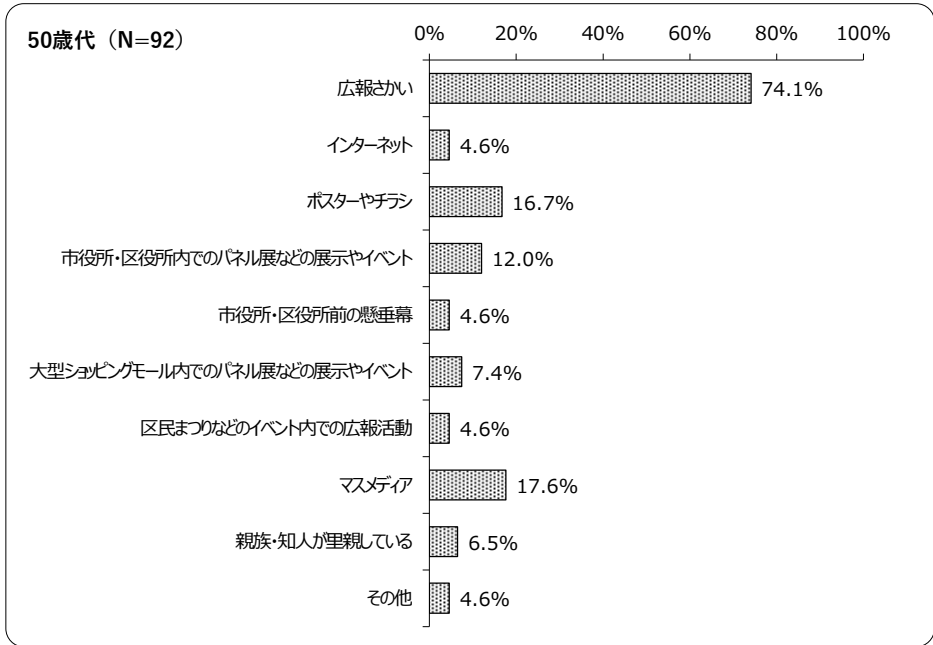
- テレビ
- ドラマ
- 特集番組
- 新聞

[10 その他]

- 授業
- 資格取得
- 業務上
- 市議会議員から







問 19. もし、あなたが里親をしたら、何が必要だと思いますか。

【複数選択可：いくつでも】

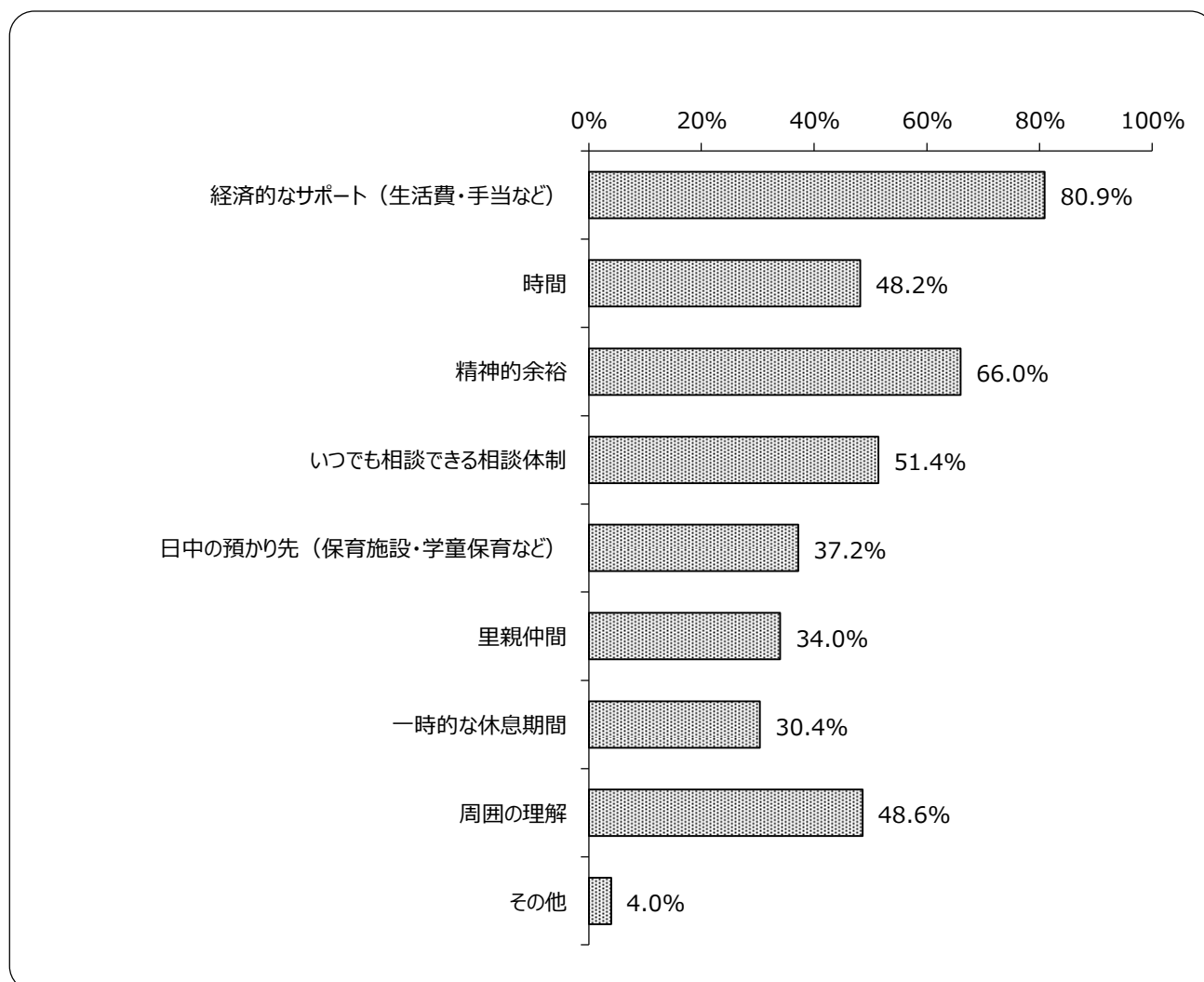
「経済的なサポート（生活費・手当など）」と回答した方は、80.9%であり、令和4年度の82.8%から減少した。
また、「周囲の理解」と回答した方は48.6%であり、令和4年度の38.8%から増加している。

| | 選択項目 (N=471) | 回答数 | 回答数/N |
|---|----------------------|-----|-------|
| 1 | 経済的なサポート（生活費・手当など） | 381 | 80.9% |
| 2 | 時間 | 227 | 48.2% |
| 3 | 精神的余裕 | 311 | 66.0% |
| 4 | いつでも相談できる相談体制 | 242 | 51.4% |
| 5 | 日中の預かり先（保育施設・学童保育など） | 175 | 37.2% |
| 6 | 里親仲間 | 160 | 34.0% |
| 7 | 一時的な休息期間 | 143 | 30.4% |
| 8 | 周囲の理解 | 229 | 48.6% |
| 9 | その他 | 19 | 4.0% |

[9 その他]

【主な回答】

- 住宅の広さ
- 体力
- 専門的な機関、人からのマンツーマンのサポート



問 20. 本市ではより多くの方に里親制度についてご理解いただき、また、啓発活動にご協力いただきたいと思います。どういった啓発活動であれば、協力できると考えますか。
なお、回答された市政モニターの方に直接、協力を依頼するものではありません。【複数選択可：いくつでも】

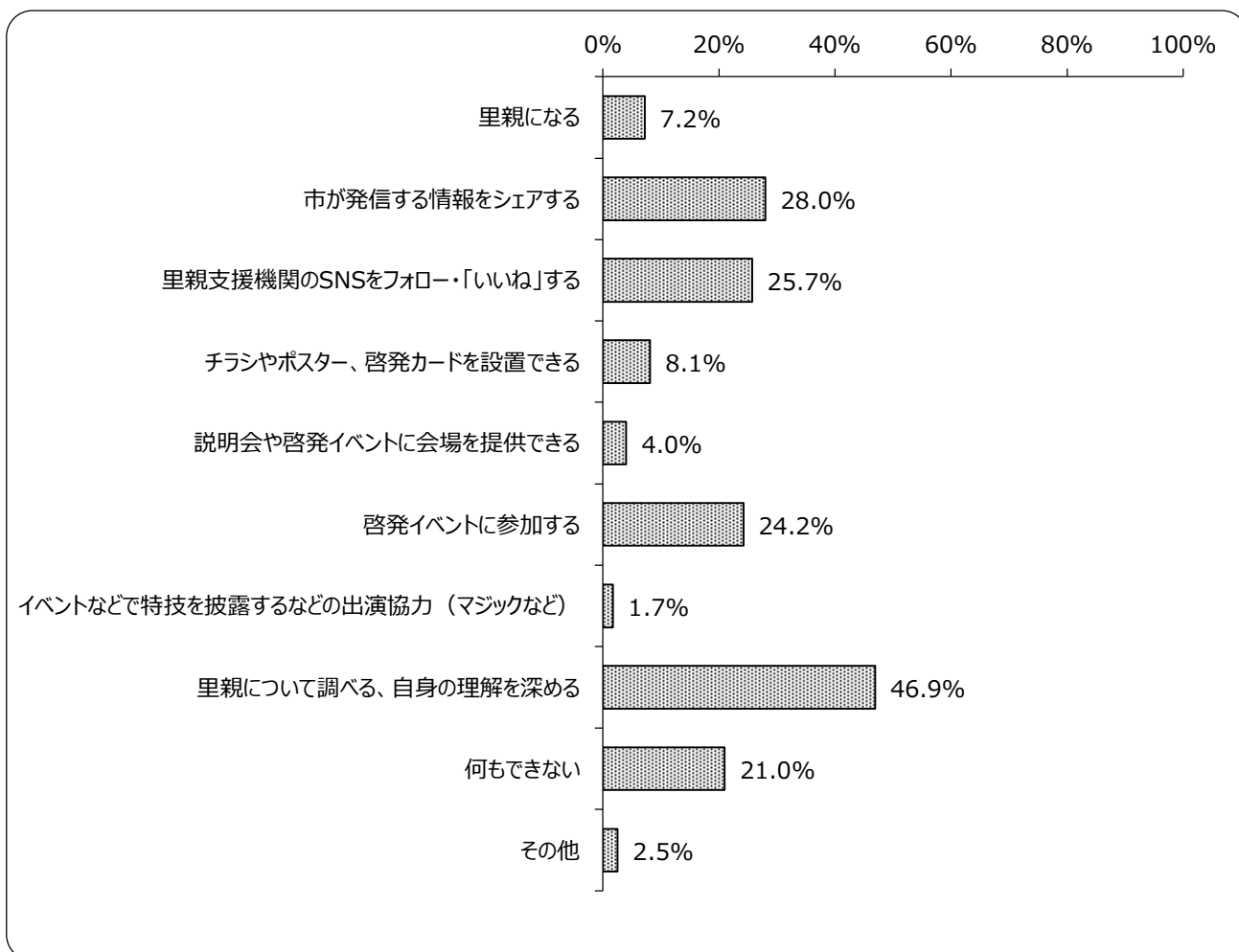
「里親支援機関の SNS をフォロー・「いいね」する」及び「啓発イベントに参加する」と回答した方はいずれも、令和 4 年度から 5 ポイント以上増加している。

| | 選択項目 (N=471) | 回答数 | 回答数/N |
|----|-------------------------------|-----|-------|
| 1 | 里親になる | 34 | 7.2% |
| 2 | 市が発信する情報をシェアする | 132 | 28.0% |
| 3 | 里親支援機関のSNSをフォロー・「いいね」する | 121 | 25.7% |
| 4 | チラシやポスター、啓発カードを設置できる | 38 | 8.1% |
| 5 | 説明会や啓発イベントに会場を提供できる | 19 | 4.0% |
| 6 | 啓発イベントに参加する | 114 | 24.2% |
| 7 | イベントなどで特技を披露するなどの出演協力（マジックなど） | 8 | 1.7% |
| 8 | 里親について調べる、自身の理解を深める | 221 | 46.9% |
| 9 | 何もできない | 99 | 21.0% |
| 10 | その他 | 12 | 2.5% |

[10 その他]

【主な回答】

- 里親の話を聞く。
- 一時的な子どもの預かり
- 里親の補助
- 説明会やイベントのボランティア



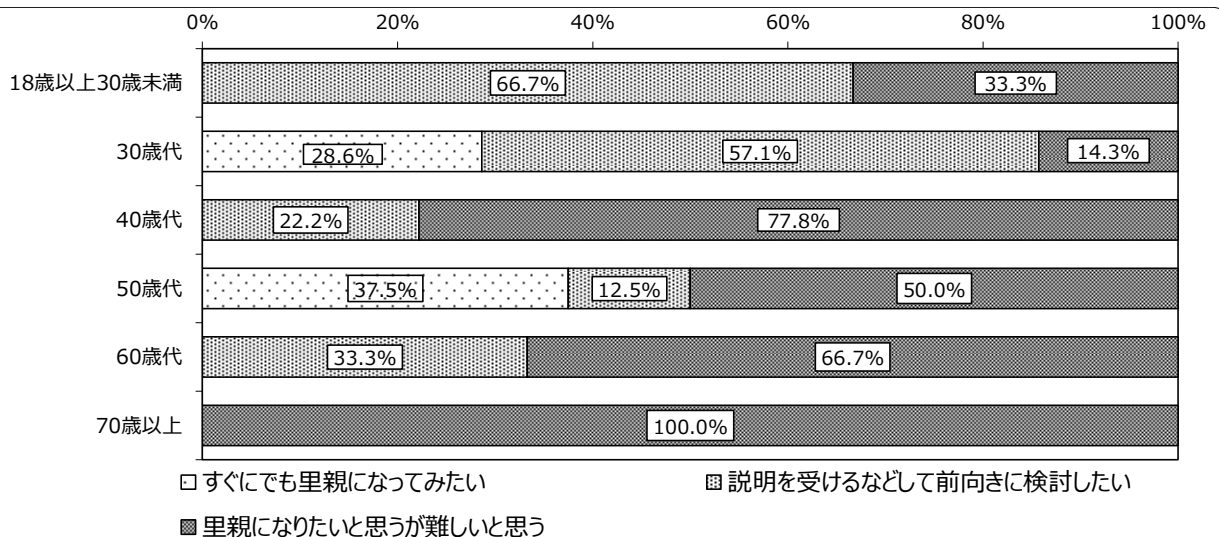
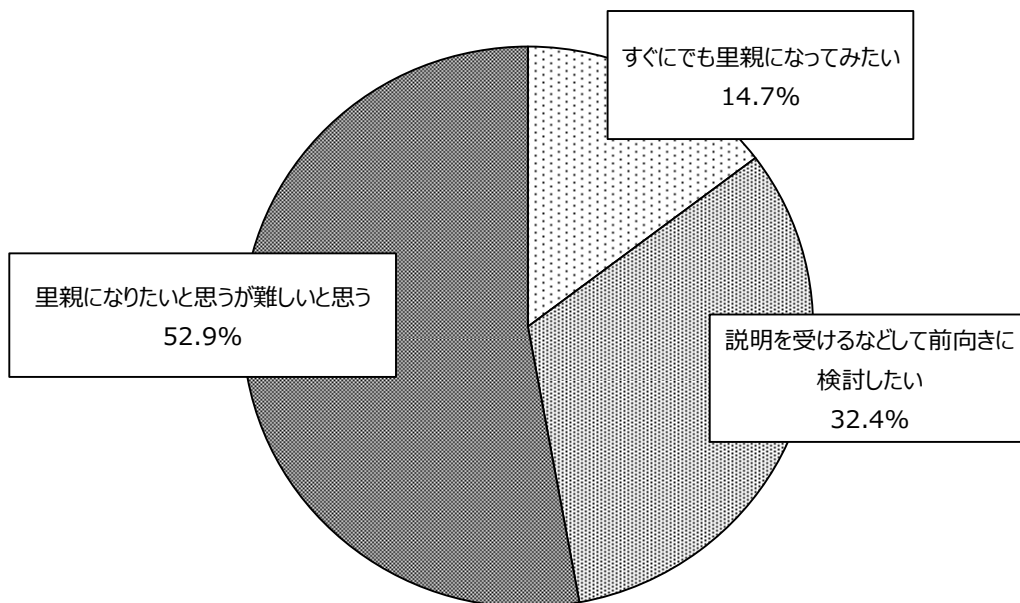
問 21. 問 20 で「1 里親になる」と回答された方に伺います。

里親になることに対する意向はどれに当てはまりますか。

なお、回答された市政モニターの方に直接、里親になることを依頼するものではありません。 【1つ選択】

「すぐにでも里親になってみたい」または「説明を受けるなどして前向きに検討したい」と回答した方は合計で 47.1%であった。また、その割合は「30 歳代」が最も多かった。

| | 選択項目 (N=34) | 回答数 | 構成比 |
|---|---------------------|-----|--------|
| 1 | すでに里親をやっている | 0 | 0.0% |
| 2 | すぐにでも里親になってみたい | 5 | 14.7% |
| 3 | 説明を受けるなどして前向きに検討したい | 11 | 32.4% |
| 4 | その他 | 0 | 0.0% |
| 5 | 里親になりたいと思うが難しいと思う | 18 | 52.9% |
| | 計 (回答総数) | 34 | 100.0% |



問 22. 問 21 で「5 里親になりたいと思うが難しいと思う」と回答された方に伺います。

難しいと感じる理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

「経済的に子どもを受け入れる余裕がない」と回答した方が最も多く 50.0%であった。次いで、「仕事があるため」と回答した方が 44.4%であった。

| | 選択項目 (N=18) | 回答数 | 回答数/N |
|----|-------------------------------|-----|-------|
| 1 | 経済的に子どもを受け入れる余裕がない | 9 | 50.0% |
| 2 | 家の広さ・間取りから子どもを受け入れる余裕がない | 5 | 27.8% |
| 3 | 仕事があるため | 8 | 44.4% |
| 4 | 自身の健康状態 | 2 | 11.1% |
| 5 | 家族の理解が得られない | 4 | 22.2% |
| 6 | 実子がいるため、受け入れる子どもとうまくいか分らない | 3 | 16.7% |
| 7 | 受け入れる子どもが大きくなるまで育てる自信がない | 2 | 11.1% |
| 8 | 血のつながらない子どもを育てるのは難しいと思う | 3 | 16.7% |
| 9 | 里親になるための要件や手続、相談先などが具体的に分からない | 1 | 5.6% |
| 10 | その他 | 1 | 5.6% |

[10 その他]

【全回答】

- 研修期間が長い。

